

ともはつよし社

あなたは、なぜ自分がここににいるのか、不思議に思ったことはありませんか？

あるいは、自分がいったいどこから来たのだろうか？ とか、

どうして、人の寿命は80年ちよつとなのだらう？ と思ったことはありませんか？

よく考えたら、この世はわからないことばかり……。

ピラミッドの謎も、UFOも、地底伝説やオーパーツまで。

世界は不思議に満ちています。

他にも、ノアの方舟、古代文明からタイムマシンまで……。

世界は不思議に満ちています。

……もし、これらの謎がするりと解けて、

なぜ今、自分がここにいて、どこからやってきて、どこへ行くのか？

自分の謎と世界の謎がいつぺんにわかってしまったらどうなるのか？

ともはつよし社

これから始まるお話は、それらの疑問に、答えていくことでしよう。そしてそれは、そのままあなたの変容へと繋がることつなになるでしょう。なぜなら、これは、あなたの身体に流れている血の中にある物語だからです。

このお話を作り話にするか、真実とするかは、あなたが決めていいのです。それはあなたの選択です。

どの現実を選ぶかは、あなたの自由意思に任されています。

本当のところは、各々が皆、心の奥底ですでに知っているのですから。

さあ、記憶の扉を開きましょう。

時満ちて始まる冒険の旅。

新しいあなたに出会うのはまもなくです！

人類創世記 イナンナバイブル
アヌンナキの旅 目次

〔序文〕 8

序章 人類創生の女神イナンナから人類へ
のメッセージ 15

アヌンナキの旅

第一章 神々の故郷 ニビル星 27

ニビル星の気圏の崩壊と地球の金 29
ニビル星の社会構造（ヒエラルキー） 33
アヌンナキの誕生 36

タイムジャンパー 38

ニビル星人の肌の色と寿命 42

ニビル星の王アヌの妃、女神アンツの宮殿 46

ニビル星人の愛と性 50

アヌが溺愛した女神アンツ／ニビル星人のセック
ス／聖なる結婚／近親相姦

第二章 ニビル王アヌの子供たち／
ニンマーとエンキ 63

ニンマー 64

エンキとエンリル 70

第三章 地球に降り立った神々 75

最初に地球に辿り着いたアラル 78

ニビル星のタイムマシン「虹のはしご」 83

アカデの港 87

アラルの死 91

第四章 神々の恋と謀はかりごと 99

ニンマーとエンリルの果たされぬ恋 102

ニンキと結ばれたエンキ 106

裁判にかけられたエンリル 107

ニビル星のトゥルバの木 112

エンキの誘惑 119

第五章 神々の成せる業 127

5つの都市計画 128

運命の石板 131

死刑にされたアンズ 136

アヌンナキの反乱 140

第六章 原始的労働者創造計画 145

大いなる発見 146

神と女神の共同プロジェクト 148

実験に反対したエンリル 152

アヌンナキの会議 157

生命の家 160

ルル・アメルが誕生するまで 164

バイナ伴リースター星の運命 166

お産の家「シムテイ」 168

第七章 ルル・アメル 173

アダマー号 175

急増し始めたルル 180

第八章 人類 189

アダマとティ・アマトの子孫たち 192

ともはつよし社

ウツ	198
天への門	201
ニビル星に戻っていったアヌンナキ	203
捨て子のアダバとティ・ティ	205
文明化したルルの誕生	210
アダバの宇宙旅行	214
長寿の果実酒とパン	221
第九章 アダバの子／	
カ・インとア・バエル	227
兄弟の運命	230
地上初の犯罪者	234
約束	239
金の女神クニン	241
半神半人のジウスドラ	245
第十章 マルドウク	251
アヌンナキの祝宴	252
イギギたちの反乱	256
追放されたマルドウク	259
シエムの子ら	263
地球の時間軸	266
第十一章 ただちに地球から脱出せよ	271
ニビル星の太陽系大接近	273
ガルズの亡霊	282
ジウスドラの方舟	285
双子山	288
第十二章 ピラミッド	297
南北に走る金脈	299
人工の双子山エタル	301

ともはつよし社

アスタとネパト	306
登場人物リスト	318
用語集	327
登場場所リスト	332
【me (メ)】の種類	336
参考文献	336

装丁 takaokadesgin

本文仮名書体 文麗仮名(キャップス)

私の物語が

なびく風のように

歌のように

あなたの心に響きますように

歌は流れ 今は昔に

昔は今に 響き合う

ひとつにこだまする ふたつの歌

ふたつの歌はひとつに結ばれ

やがてひとつはすべてになる

〔序文〕

母なる星、ガイアからのメッセージ

私はガイア

あなたたちが住んでいる星——地球です

地球が語る？

そんなバカな？ とあなたは思ったかもしれませんね。

けれども本当はそうなのです。

あなたに心と魂があるように、

私、ガイアも心と魂を宿しています。

ともはつよし社

私、ガイアは地球の女性性です。

水の中にいのちを宿しています。

一方、私の中の男性性はテラといって

岩の中にいのちを宿しています。

こうしてテラとガイアが一对となって、

地球の意識を形成しています。

地球は生きた生命体です。

ただの岩のかたまりではありません。

あなたたちは、私がただ、

太陽のまわりをぐるぐる回っているだけだと

思っているかもしれませんが、そうではありません。

ものすごい速さで移動するお母さんに遅れを取らないように、

惑星兄弟たちとともに、

必死になってそのまわりを回転しながらついていっているのです。

ともはつよし社

だから、一周したら元の位置ではなく、一周したらとても離れた、次の位置にいます。

これはとても大切な視点です。

なぜなら私も、あなたたちと同じように、

常に変化し続け、成長しているということなのです。

私にとってのお母さんは太陽で、ラーという名で呼ばれています。

私は太陽母さんの子供ですが、

私の子供は、あなたたち、そして、すべての生き物たちです。

とりわけ、生命連鎖の頂点に立つあなたたち人間には、

特別な思いを持って、接してきました。

そう、最後に生まれた子供が一番気になるように、

かわいくて、いとおしくてたまらないとし子たち。

それが、あなたたちヒトだったのです。

私はあなたたちが気持ちよく暮らせるよう、

ともはつよし社

太陽母さんの強いパワーをやわらげて、

ちょうどいい温度で照らすよう、

磁場のマントをまとって、あなたたちをすっぽり包んで守りました。

磁場は慈場。

そう、私の愛と慈しみの現れの間なのです。

豊かな森と花々咲き乱れる広い草原、

ゴツゴツした岩肌の切り立った山々、

隅々まで行きわたる透き通った川の流れ、

実のなる食べ物と色とりどりの作物、大地のめぐみ、

私はいつでも惜しみなく、溢れる愛であな^{あふ}がたを包んでいます。

今も、そしてこれから、ずっと変わることなく愛しています。

けれども最近のあなたたちは、

私と話すことをやめてしまい、私との繋がりを急速に薄れさせてしまいました。

私を生命体として見るのではなく、ただの岩くれ、資源になり、

ともはつよし社

すべてを取りつくさん勢いで、私の身体を傷つけています。それがどんなに危険なことかを知らずに、あなたがたはその無邪気さをやめようともしていません。

母は優しさもあれば厳しさもあります。

強さもあるし、なによりも、常に我が子の成長を願ってやまないのです。こうして、私は子供たちとともに、次のステージに行く決意をしました。

愛がもっと直接降り注いでいく次元です。

なぜなら、母である太陽が、そこに行くことを決めたからです。

だから私もついていくことにしました。

なので、私の身体の中に住むあなたたちも、一緒に行くことになるのです。

けれども、今のままでは、全員を連れていくのは難しいのです。

愛の次元に行くには、あなたたち自身が愛の人にならなければならないと、そこに辿り着くことはできません。

どうしたら本来、愛から生まれた結晶であるあなたたちが、

ともはつよし社

自らの愛に気づくことができるのか？

そしてそれを生きることができるのか？

私は考え、悩みました。

大地を揺らしたり、空気に息を吹きかけたりもしましたが、

なかなか気づくことができない子供たちもたくさんいました。

それは決して、あなたたちを懲らしめたいのではなく、

もっと別な視点から生きることができるようになってもらうためでした。

それは 愛によって生きること——。

こうして、私はひとの閃きひらめを得ました。

それは、あなたたち——ヒトがどうして生まれたかを知ること。

ヒトという存在が、どのようにして生まれ、どうやって今に至ったのか？

このことを開示することによって、

あなたたちの中に、新たな視点が生まれるであろう強い予感に満たされたからです。

そこで、あなたたち人類を直接創造した存在と、

ともはつよし社

直接、対話をして、その秘密を語ってもらったことにしたのです。

それは今のあなたにとっては、ショッキングな事実かもしれません。

けれどもそこを知り、認め、赦し、手放すことで、

あなたの血が変わり、意識が変わり、組織が変わり、現実が変わります。

そうして、あなたは新しい身体と新しい意識を獲得して、

新しい私の身体であるノヴァ・テラ（新生地球）とともに、

愛の次元の地球に、すんなりと移行することができるようになるでしょう。

彼女——イナンナは素晴らしい語り部です。

彼女はプレアデスから来たニビル星人、アヌンナキの女神です。

さあ、イナンナが語る新しい聖書——イナンナバイブルを開けてみましょう。

これは、あなたの血の中にある物語です。